

2008 年度丹沢主要登山道利用実態調査結果

大木 伸一*・丹沢大山ボランティアネットワーク**

Person trip research on the main trails in the Tanzawa Mountains, 2008

Shinichi OOKI* and Tanzawa Oyama Volunteer Network**

はじめに

2008 年 5 月 4 日に大山、塔ノ岳、蛭ヶ岳の 3 山頂で実施した登山道利用実態調査について報告する。

この調査は、丹沢大山総合調査地域再生調査による県民参加調査として実施した 9 山頂における登山道利用実態調査を引き継ぐものとして、平成 18 年から丹沢の緑を育む集い実行委員会の支援により丹沢大山ボランティアネットワークが県民協働調査として実施している。

調査方法

丹沢大山の主要な登山道の利用実態を把握するため、大山山頂へ通じる 5 路線、塔ノ岳山頂へ通じる 5 路線及び蛭ヶ岳山頂へ通じる 3 路線を選定し、塔ノ岳については、金冷シにも調査点を設け、鍋割山方面と大倉方面の登山道利用実態についても調査した(図 1)。

各山頂では登山道ごとに調査員を配置し、山頂へ向かう登山者を「上り」、山頂から降りる登山者を「下り」として、調査開始から終了までの 1 時間ごとの登山者数を記録した。

調査結果

山頂別の計測 1 日当りの上り登山者数は大山 2,998 人、塔ノ岳 1,838 人、蛭ヶ岳 260 人であり、大山は蛭ヶ岳の 10 倍程となっている(表 1～3)。

登山道別の計測 1 日当りの上り下り登山者数を見ると、大山 下社方面 3,055 人、大山 見晴台方面 1,969 人、塔ノ岳 大倉方面 1,996 人の 3 路線の利用がとりわけ多く、この 3 路線で上り下り登山者合計の 67.1%を占めている(表 1～4)。

今後も、この調査を継続し、登山者数の推移を把握するとともに、登山道荒廃状況と登山者数の関連等からオーバーユース対策の基礎となるデータの蓄積を図っていく。

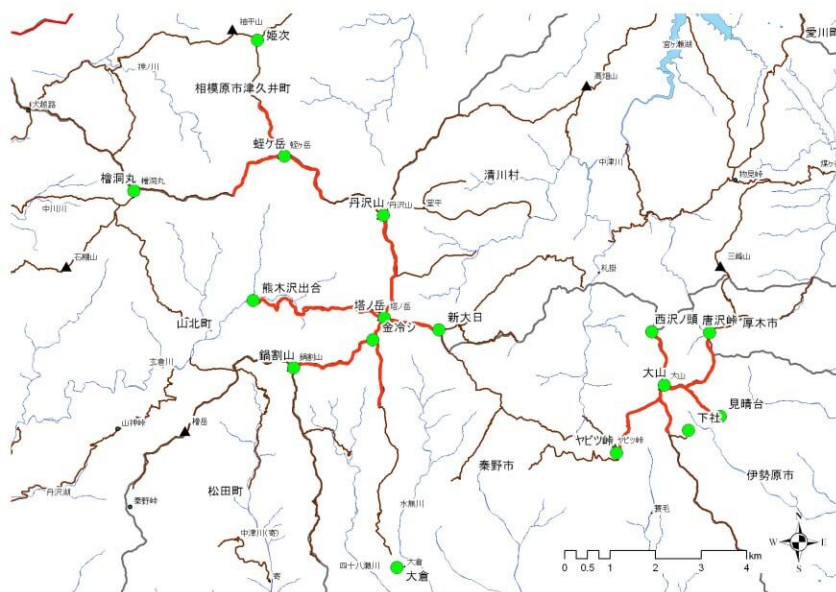


図 1 調査山頂及び路線

* 神奈川県自然環境保全センター自然保護公園部自然保護課(神奈川県厚木市七沢 657)

** 丹沢大山ボランティアネットワーク(神奈川県自然環境保全センター内)

表1 大山山頂登山道利用実態調査結果表

方面	西沢ノ頭	唐沢峠	見晴台	下社	ヤビツ峠	大山山頂計
上り人数	0	15	341	2,169	473	2,998
下り人数	10	54	1,628	886	278	2,856
計	10	69	1,969	3,055	751	5,854

注:2008年5月4日9:00～15:00調査実施

表2 塔ノ岳山頂登山道利用実態調査結果表

方面	丹沢山	新大日	大倉	鍋割山	熊木沢出合	塔ノ岳山頂計
上り人数	208	607	912	111	0	1,838
下り人数	345	189	1,084	181	0	1,799
計	553	796	1,996	292	0	3,637

注:2008年5月4日9:00～15:00調査実施

表3 蛭ヶ岳山頂登山道利用実態調査結果表

方面	姫次	丹沢山	檜洞丸	蛭ヶ岳山頂計
上り人数	52	198	10	260
下り人数	66	129	46	241
計	118	327	56	501

注:2008年5月4日8:00～15:00調査実施

表4 大倉尾根登山道利用実態調査結果表

方面	塔ノ岳	鍋割山	大倉尾根計
上り人数	912	38	950
下り人数	1,084	30	1,114
計	1,996	68	2,064

注:2008年5月4日9:00～15:00調査実施